

第20回田原市男女共同参画推進懇話会 議事要旨

日 時	平成25年11月29日（金）14：00～15：45
場 所	田原市役所北庁舎1階 大会議室
出席者	河合会長、森下副会長、三浦委員、渡会委員、中神委員、大久保委員、 榎本委員、齋藤委員、鈴木貴江委員、宮本委員、川口委員、永田委員、 田中委員、平野委員、鈴木京子委員 （事務局）鈴木市民協働課長、松井副主幹、柴田主事補 （自由聴講）田原市地域コミュニティ連合会理事、市職員等
欠席者	岩瀬委員、吉武委員、榎田委員、富田委員、加藤委員、大竹委員、 金原委員、武田オブザーバー
議事録署名者	森下副会長、中神委員
議 題	（1）各委員の取組 （2）第6回男女共同参画フェスティバルについて （3）平成26年度の市の取組 （4）「地域活動における男女共同参画」に関する意見交換

会議内容要旨

（1）各委員の取組（報告：各委員）

○森下委員

- ・女性会議ウィットW I Tで制作応援をしてきた映画「潮風の村から～ある女性医師の軌跡～」が完成し、各種団体によって上映された。
- ・人権擁護委員として「女性の人権ホットライン」強化週間に相談対応を行った。
- ・日本のジェンダーギャップ指数は105位／136カ国。日本は女性の就労者や政治家の少なさが評価を下げている。

○田中委員

- ・日本のジェンダーギャップ指数の低さに驚いている。今年度の懇話会のテーマである「地域活動における男女共同参画」について、委員全員で考え、行動に移していきたい。

○鈴木京子委員

- ・東日本大震災の被災地である石巻市では仮設住宅の女性たちが集まって、協力して食事の支度等を行っている。女性の方が仲間づくりや仲間での行動が得意。
- ・思いを素直に伝えることで良いコミュニケーションができる。大人が男女互いに人権を尊重し合い、子どもたちに良い環境をつくるべき。

(2) 第6回男女共同参画フェスティバルについて（報告：森下副会長）

- ・平成25年8月25日（日）田原文化会館にて開催
- ・市民活動団体の活動発表、映画「幸福な食卓」上映&監督トークショーを行った。
- ・来場者アンケートには「映画上映とトークショーがよかった」「一般来場者や若者が増えるとよい」という意見が多かった。

○委員意見

- ・映画の候補作品を懇話会委員も一緒に考え、選定したい。

次回検討事項

- ・来年度フェスティバルの内容（映画上映）について検討する。

(3) 平成26年度の市の取組について（報告：川口委員）

- ・市職員への意識啓発のため、男女共同参画に関する職員研修を開催（予定）。
- ・引き続き、懇話会主催のフェスティバルを開催し、市民への啓発を図る。
- ・青少年問題協議会、社会教育委員は条例を改正し、市民公募委員を募り、幅広く市民意見を取り入れる。
- ・新規就農者や担い手育成支援のため、チャレンジ農業セミナーや就農相談を実施。

(4) 地域活動における男女共同参画に関する意見交換

○豊橋市二川校区自治会長 梅岡愛子氏 紹介

- ・現 豊橋市自治連合会常任理事、二川校区自治会長（2年目）、大岩町中町自治会会長、主任児童委員、二川宿本陣まつり開催実行委員会会長
- ・大岩町中町自治会で副会長を7年間務めた後、自治会長となる。これまで参加した地域活動は、子ども会、PTA婦人部会、社会体育委員会と多岐に渡る。

○講話

- ・当時の総代や夫から「女性には町会長は大変だ」と言われていたが、様々な社会活動経験から次第に周りの人が推してくれ、大岩町中町自治会の会長を引き受けた。他の会長たちも、女性だからと特別視することなく、自然に受け入れてくれた。
- ・町会長初めの4年間は二川校区の防災部長を務めた。12月に行われる校区防災訓練で、参加者が野外でも温まりながら訓練できるようにと炊き出し訓練の実施を提案した。すると自治会長から「女性ならではの発想」と感心され、提案が採用された。そのような住民の感心や感嘆の言葉が嬉しく、自治会活動に積極的にチャレンジできた。

- ・長く続けた町会長の経験もあり、二川校区自治会長をやってはどうかと薦められ、初の女性自治会長となった。
- ・当初、豊橋市自治連合会の常任理事17名のうち女性は自分一名のみであったが、他の男性理事は優しく受け入れてくれた。
- ・常任理事で他市の自治会運営を視察した際、豊橋市はしっかりと自治会が組織され、主体的に動いていることが確認できた。
- ・二川本陣まつりでの自治会長の仕事は大変だが、住民の皆さんが一生懸命取り組んでくれる。自分にとって生活の一部であり、とても楽しく活動している。

○意見交換

(委員) 女性自治会長となって困難なことはないか。

(講師) 困難なことはあまりない。以前からの地域活動・社会活動経験もあり、周囲が自分を自治会長に推してくれたのではないかと思う。また、地域活動と家事の両立も大変。家族の支えや理解があって、積極的に地域に参加できている。

(委員) 豊橋市の自治会組織がしっかりしていることがわかった。田原市のコミュニティもしっかり組織され主体的に運営されているが、女性が役員を担うにはまだまだ環境が整っていない。

(委員) 梅岡さんが地域活動に楽しんで取り組んでいることが、活動を長く続けられる理由ではないかと感じた。

(講師) 地域活動中に見られる子どもたちや住民の皆さんの笑顔を見るのがとても嬉しい。自分は特別な人ではなく、「二川をよくしたい」という思いや周りの人の笑顔があって、楽しく活動を続けられている。

(委員) 豊橋市の自治会は、昔から女性が自然に参加できる雰囲気があったのか。

(講師) 7年間に総代会から自治連合会に移行したのをきっかけに、自治会の雰囲気が変わった。運営はみんなでやるオープンでやわらかい雰囲気になったと思う。

(委員) 田原市は自治会役員に女性が少ない。女性を2割は登用するよう決めてはどうか。

(委員) 女性を無理に登用するのではなく、女性が参加しやすい地域の土壌や雰囲気、女性を育てる環境をつくり、少しずつ女性参加を促していくべきではないだろうか。

(5) その他

○次回第21回懇話会：平成26年3月頃（予定）

配布資料

【次第】

【名簿・配席表】

【資料1】各委員の取組

【資料2】第6回男女共同参画フェスティバル開催報告

【資料3】田原市男女共同参画推進プランに基づく平成26年度事業

【資料4-1】「地域活動における男女共同参画」に関する意見交換

【資料4-1-1】豊橋市自治連合会について

【情報誌】男女共同参画社会を目指す情報紙「花づな vol.36」（発行／豊橋市）

【資料4-2】田原市の地域活動の概要と現状

【会報】平成25年度田原市地域コミュニティ連合会

【パンフレット】ひとりひとりが幸せな社会のために（発行／内閣府）